

◆ 2019年度活動報告シート ◆

団体名：認定 NPO 法人 水のフォーラム

22A-19

代表者：

URL : [http:// w-forum.jp](http://w-forum.jp)

1. 活動が必要とされた状況

2019年10月13日夜、台風19号により関東地方は狩野川台風並みの豪雨に見舞われました。上下流交流で訪れた八ッ場ダムが試験湛水を始めたばかりだったこともあって荒川等埼玉の主要河川の越水は免れました。

しかし主要河川は天端際まで水位が上がり、支川が排水できず、支川上流で氾濫しました。狩野川台風による川口の浸水被害により保全されてきた見沼田んぼも長期にわたり湛水し、改めて洪水の脅威を知ることになりました。

『水のFORUM』Vol. 19は県北の神流川からの用水系を紹介する予定で現地調査もしていましたが、一部、台風19号を機に水災害の脅威を記憶に残す記事に変更しました。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

<実施時期> 2019年度前半～資料収集。 後半に原稿作成等まとめ。

<参加人数> 筆者、校正人員として数名。

<活動内容> 特集記事：

上記状況から神流川・利根川の空撮を活用し、河川洪水の脅威を紹介。

実践活動報告：

①台風19号による湛水状況写真から見沼田んぼ保全の必要性を考える。

②上下流交流会で八ッ場ダム試験湛水直前の風景、台風19号による満水状況写真を使用し、八ッ場ダムの必要性を紹介。



『水のFORUM』Vol. 19より

3. 活動の成果

流域の水を知るための情報誌『水のFORUM』を続けてきたことで、昨年の台風19号を通じて水災害の脅威を紹介することができました。『水のFORUM』は国会図書館や都中央図書館(旧日比谷図書館)にコーナーが設けられ、各号收藏されていますので、県内外の方々に広く情報発信できると思います。

4. 今後に残された課題

今号で紹介できなかった県北の農業用水も江戸・東京に流下します。次号20号では、その紹介から、これまでの集大成である江戸・東京と後背地埼玉の水みちを通じた関係を紹介します。